

第21回「議員と語りかい」報告書

2班万膳 (No. 1)

開催日	平成28年11月9日(水) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	万膳地区公民館		
団体名	万膳地区	参加人員	15人 (男13人:女2人)
出席議員	今吉 歳晴、厚地 覺、中村 満雄、新橋 実、宮本 明彦、有村 隆志		
役割分担	班 長 (厚地 覺) 副班長 (中村 満雄) 記録係 (有村 隆志)		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

☆公民館長挨拶

万膳地区は霧島市の最北端に位置し、348世帯、648人である。高齢化率も高く46.3%となっている。万膳祭のほか、万膳小学校でニジマス釣りを実施し、PTA活動費に充てている。地域の現状については、湧水町に開発された太陽光発電所からの雨水が流入する万膳川について、災害の発生を危惧している。

◆高齢化が進み、農業後継者もいない。TPPが成立した場合、市の単独支援策、特に中山間地域の隅々まで目配りした支援策はあるか。

◇5名の議員が話をした。TPPは相手国もあり、まだ流動的だが、国も対策をしっかりと取り組もうとしている。今の状況で市の対応を説明できないが、上場地区の農業は市の基幹産業なので、TPPに関係なくしっかりと取り組む必要がある。議会は今後も中山間地域の活性化策に引き続き取り組む。

◆防災無線のデジタルの戸別受信機(エリアトーク)は、電波法により使用期限が平成34年1月30日までとなっている。機器の買い替えが必要になり、新しい受信機の自己負担額は、6割負担でも1万6千円となる。少子高齢化のなか、負担が重いので要らないと考える人もおり苦慮している。本来、防災無線を兼ねているので、市が年次的に補助し負担を軽減してほしい。

◇市の防災無線の個別受信機についての考え方や今後の補助の在り方について、一般質問等で当局に確認する。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆湧水ソーラーパーク（ソーラー発電）36haからの雨水で万膳川が増水することが予測される。また、葦も繁茂しているので水害の心配がある。寄り洲の除去等、川の整備をしてほしい。ソーラー発電は、霧島の問題として提言できないか。

◇全議員が話をした。今日は総務委員会で3ヶ所のソーラー発電所の現地を見た。森林開発の許認可は県であり心配点を県に申し込んだ。一番の心配は雨水の排水問題であり、業者は今後、不安があれば住民説明会をしようと言っているので、話し合いが大事だ。霧島市は、「霧島市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン」を作った。20年後に事業をやめるときのことまで含めた協定書を、市と自治会が率先して取り交わすことが大事。この設備は湧水町にある施設であり、今後、地元と市と湧水町との協議も要るのではないか。説明会は実施され、誓約書を買ったとのことだが、将来に問題が起こらないように覚書を結ぶべきだ。川の整備は、市を通じて県に申し入れる。

◆空き家対策はどうしているのか。

◇撤去に対する補助制度はある。老朽空き家の問題は、まずは市の建築指導課へ連絡してほしい。市が対応を判断する。

◆焼却場（旧北始良焼却場）の跡地にある残土は安全か。また、門があり、締めきられているが、桜の時期は開放してほしい。

◇残土は地域の要望もあり撤去した。開放の要望は市に伝える。